資料１

これまでの議論と今後の取組の方向性

令和８年７月27日
農林水産省
経営局就農・女性課

これまでいただいたご意見と目指すべき姿

これまでの勉強会でいただいた主なご意見（まとめ①）

○　スポーツのファンを巻き込みながら農業界を盛り上げ、地域の活性化や関係性強化につなげていく取組が必要である。

○　消費者は価格だけでなく購入相手も重視するため、地域と繋がりのあるスポーツチームが農業参入した場合は、販路確保の面で有効ではないか。

○　農業のことをよく分からないという人を、少しだけ知っている、よく知っているという状態にもっていく必要がある。

○　合宿・オフシーズンや小中学校段階において農業体験の機会を提供し、農業への関心を高める場を設けるべきである。

○　農業でキャリアアップできる支援体制を構築する必要がある。

○　就農後の働き方や収入、生活レベルなど、農業のブラックボックス化している部分を見える化し、安心感をもって仕事として取り組んでもらう必要がある。

○　スポーツの力で農業への関心を増やすにあたり、複数の選択肢があることを農業界とスポーツ界が共有することも大切。例えば農業そのものに関わる場合でも、経営だけではなく雇用労働としての観点があることや、いわゆる農家としてだけではなく食全体やブランディングの観点で農業に関わることもできることなどがあげられる。

これまでの勉強会でいただいた主なご意見（まとめ②）

○　他業種の情報を得る機会が乏しい層に向け、キャリア選択に必要な情報の一元化を図る必要がある。

○　ファーストキャリアの段階から他業種の情報を得られる機会を設け、自治体と連携した持続的な取組を推進すべきである。

○　農業の現状を整理し、何をよくするためにに行うのか、目標を設定することが重要である。

○　スポーツ選手が農業に対して内在的に強くモチベーションを持てるようになるにはどうすればよいか、農業とスポーツが内在的にマッチングする要素（たとえば自然環境や有機農業への関心など）はどういうところかといったことを分析する必要がある。

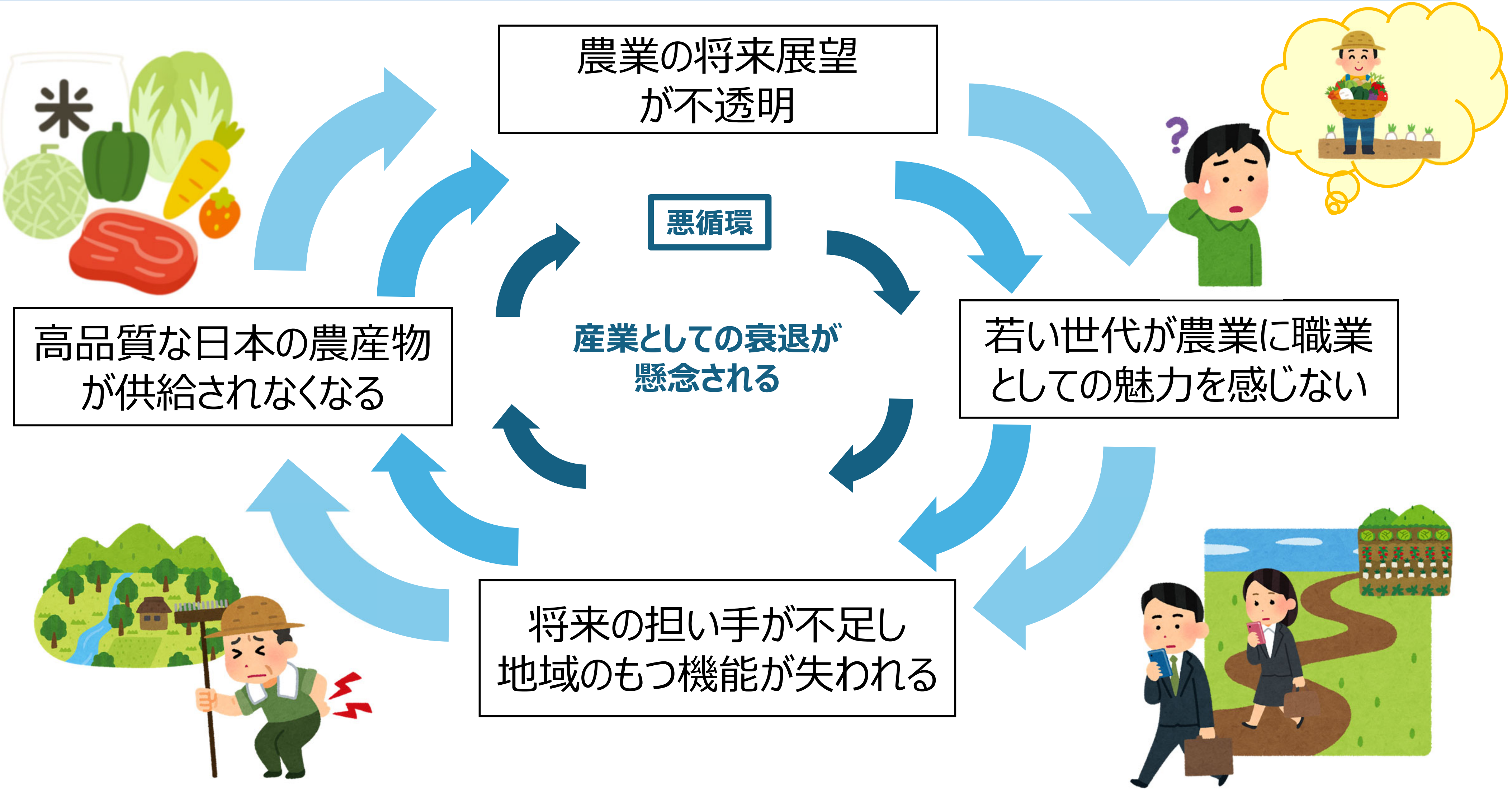
○　アスリートの特徴として、食に関する意識が高いという点がある。自身が食べるものがどうできているのかを知る、食への感謝を体感する機会が必要である。

○　農業がアスリート（スポーツ界）に対し魅力があるものか、という点も踏まえた議論が必要である。

○　事例を構造的に捉えて、農業界、スポーツ界互いのメリットをもう少し具現化し、どうすれば型にできるのかということを議論していくべきである。

背景（農業界の現状認識）

農業分野では、農業・農村に対する国民の意識・関心の低下や担い手不足などの課題が連鎖的に発生しており、この悪循環が継続することで、農業が産業として持続的に発展していく基盤そのものの弱体化が懸念される。



勉強会外で農林水産省「アス→ノウ」プロジェクトによりヒアリングした各地域の農業×スポーツの事例

アス→ノウ

合計44事例

※令和8年7月23日時点

北海道　1件

むかわ町　椿 文子氏（スピードスケート/トマト、レタス）

東北　4件

宮城県　石橋 良太氏（野球/ネギ）
山形県　丹野 朝香氏（ソフトボール/スイカ、野菜）
　モンテディオ山形（サッカー/米）
福島県　福島ユナイテッドFC（サッカー/果樹）

九州・沖縄　13件

福岡県　中原 大樹氏（野球/きくらげ）
　ゴールデンウルヴス福岡（ハンドボール/野菜）
　VC FUKUOKA（サイクルロードレース/あずき）
佐賀県　佐賀アジアドリームズ（野球/米）
　草場 悠輔氏（競輪/キュウリ）
熊本県　水本 勝成氏（サッカー/野菜）
大分県　松本 怜氏（サッカー/サツマイモ）
宮崎県　ヴェロスクロノス都農（サッカー/ブドウ、トマト等）
　ヴィアマテラス宮崎（サッカー/ブドウ等）
鹿児島県　平 秀斗氏（サッカー/繁殖牛）
　内薗 大貴氏（サッカー/オクラ等）
　鹿児島ユナイテッドFC（サッカー/かんしょ）
沖縄県　沖縄SV（サッカー/コーヒー豆）

北陸　4件

新潟県　FC越後妻有（サッカー/米）
　SANJO BEATERS.EXE（3×3バスケットボール/米、サツマイモ）
石川県　PFUブルーキャッツ石川かほく（バレーボール/米、柿、デラウウェア）
福井県　中垣内 祐一氏（バレーボール/米）

関東甲信・静岡　15件

茨城県　水戸ホーリーホック（サッカー/ニンニク等）
栃木県　渡邊 裕規氏（バスケットボール/野菜）
　栃木ゴールデンブレーブス（野球/野菜、米）
千葉県　esDGz OTAKI.EXE（3×3バスケットボール/米、酒米）
　佐藤 竜彦氏（野球/サツマイモ、ニンジン）
神奈川県　三ツ間 卓也氏（野球/イチゴ）
　湘南ベルマーレフットサルクラブ（フットサル/サトイモ）
　ノジマステラ神奈川相模原（サッカー/サツマイモ）
山梨県　工藤 公康氏（野球/野菜等）
　ヴァンフォーレ甲府（サッカー/米）
長野県　石川 直宏氏（サッカー/トウモロコシ）
　高崎 寛之氏（サッカー/白ひらたけ、長芋等）
　古賀 穂氏（バドミントン/米、リンゴ等）
静岡県　神取 忍氏（プロレス/米）
　遠藤 広太氏（ラグビー/海老芋、トウモロコシ）

中国・四国　4件

広島県　岡﨑 和也氏（サッカー/葉物野菜）
　戸田 隆矢氏（野球/レモン）
徳島県　徳島インディゴソックス（野球/アボカド、榊）
香川県　木村 和史氏（陸上/野菜、シャインマスカット）

東海　2件

三重県　江川 智晃氏（野球/養豚）
　NPO法人スポーツクラブどんぐり（サッカー/野菜）

近畿　1件

兵庫県　稲垣 将幸（クリス）氏（野球/野菜）

勉強会/勉強会外のヒアリングで見えてきた課題

就農・参入のフロー	ヒアリングや勉強会で判明した課題	考えられる対応策（案）
農業について知る	・アスリートの「食」への意識の高さが必ずしも職としての農業に繋がらない。	・チームや現役中のアスリートに対する「食」きっかけの**農業体験の提供**
具体的に就農するための情報を得る	・職業としての農業に関心をもっても、**農業経営に関する情報や農業法人への就職なども含む就農情報にアクセスできない**ためビジョンが見えず、**就農のハードルが高い**	・**就農相談会**の開催や**農業参入事例**の紹介 ・農業経営・収支モデル、雇用就農に係る**情報の提供**
	・近い境遇（アスリート）同士で**情報交換できる場がない**	・就農したアスリート同士や、就農前のアスリートと就農したアスリートが**交流できる場の提供**
↓ **実際に就農する** ↓	・就農・農業参入段階において、**支援制度に関する情報を得る機会**が必要	・チームやアスリートに対する、制度等の情報を提供する**既存施策への誘導ルートを強化**
農業経営をする	・就農・参入時は農業技術の**ノウハウがないため、技術・情報面でサポートする体制が必要**	・トレーニングファームなど**地域ぐるみで新規就農者を支える体制の整備**
経営発展を目指す	・経営が**黒字化しない**	・加工品の製造・販売や、ファン・地域住民等を巻き込んだ農作業イベントの実施、マルシェの開催といった、**付加価値を活用した農業経営の展開を応援**

勉強会/勉強会外のヒアリングで見えてきた「展望」

ヒアリングを通じて見えてきた課題や展望を踏まえ、農業をより一層魅力ある産業にすべく、官民の関係者が総力を結集して、今後、具体的取組を推進。

農業界の展望

◎魅力発信・地域PRの強化
⇒アスリートやチームの知名度・ファン層を活用し、農業・食・地域の魅力を広く発信。

◎担い手の充実
⇒現役・引退後のアスリート・チームの参入や関係者の参加により、地域農業の担い手・農業関係人口が充実。

◎地域農業の活性化、社会課題の解決への貢献
⇒新たな担い手の参画による、地域農業の活性化。
⇒Jリーグをはじめスポーツチーム等が取り組む社会課題解決の取組に貢献。

◎高付加価値化・ブランド化
⇒アスリートやチームの関与によるストーリー性・話題性で、農産物の付加価値や販売力が向上。

◎食育の促進
⇒スポーツを起点に農業や食への関心を喚起し、食育の機会を拡大。

スポーツ界へのフィードバック

◎キャリアの多様化（セカンド・デュアルキャリア）
⇒農業が引退後のセカンドキャリアや現役時代のデュアルキャリアとしての選択肢の一つになる。

◎収益機会の拡大
⇒農業への参画により、アスリート個人やチームに新たな収入源が生まれる。

◎地域貢献
⇒農業活動を通じて地域振興や社会課題の解決等に貢献。

◎人脈・協力関係の拡大
⇒農業分野との関わりにより、関係者とのネットワーク形成や、引退後の活動時の支援基盤の強化に寄与。

スポーツファンの「応援」の力を農業に

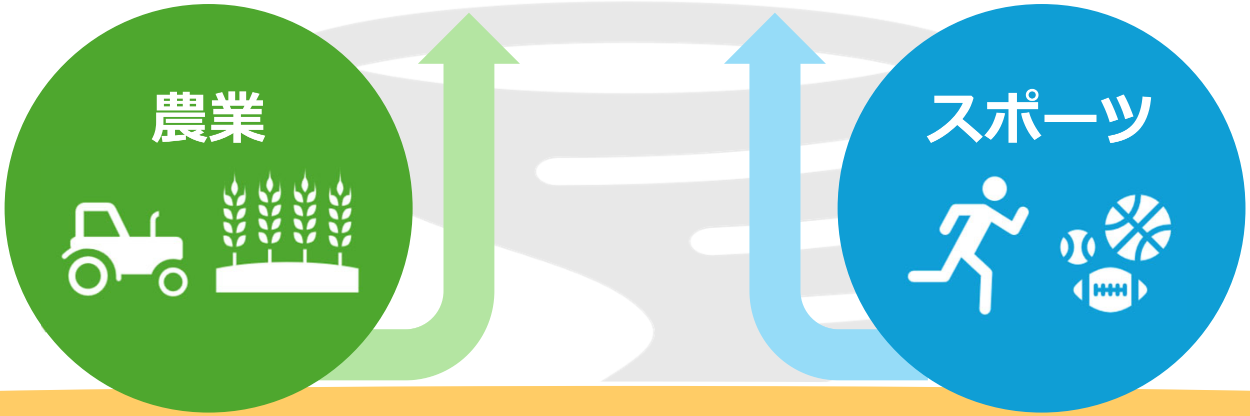
○　農業とスポーツは、**地域の誇りや魅力**を生み出すとともに、地域住民やファンと一緒になって、**気候変動などの社会課題の解決**にも貢献できるポテンシャルを有している。

○　地域の振興を図るためには、関係者が一丸となって**スポーツファンの「応援」の力を農業に活用**する取組を支援することが有効ではないか。

地域の伝統・誇り
（強豪チームの存在、伝統農法等）

地域の魅力
（スポーツツーリズム、ブランド農産物等）

地域の課題解決
（人口減少、気候変動等）



体験して応援

スタジアムで応援

買って・食べて応援

ゴールデンウルヴス福岡
子どもたちを対象に、選手が栽培した野菜を活用した食育や、スタジアムでの販売、試合観戦などの様々な体験学習を実施。

福島ユナイテッドFC（農業部）
Jリーグのネットワークを駆使して、リーグ戦を行う首都圏のスタジアムで農産物販売のマルシェを開催。

esDGz OTAKI.EXE
選手が栽培した米やタケノコなどの農産物を、ECサイトを通じてファンや地域住民に販売。

☑ 当面は、JリーグやJSTA等と連携して、事例創出と課題抽出に取り組む
☑ 将来的には、各地域の取組を統一ブランドの下で発信

今後の具体的取組

（１）－１　官民横断プラットフォームの創設

農林水産省において、スポーツ界との連携により、農業界の抱える様々な課題を「**地域**密着型の**農業×スポーツの持つ力**」で解決するための**プラットフォームを創設。**
（スポーツ庁にプラットフォームでの取組について協力いただく）

農村集落機能の低下

農業における担い手不足

産業としての持続性

発信
- 農業の魅力をスポーツの力を借りて発信
- 農業の課題を身近に感じ、実際の体験へと導くきっかけに

地域農業ファン層の形成
- 地域と密接につながる農業・スポーツの連携により、農業体験等を通した農業との接点を創出し、関心の向上を図る
- 先進事例の横展開により、農業×スポーツの取組の定着化へ

→　地域農業ファン層の形成

持続可能な農業へ
- 他産業と農業のコラボレーションにより新たな関係人口の創出・担い手不足解消へ
- 農業構造を改善し、将来にわたって農産物を安定して供給できる環境を構築

スポーツへのフィードバック
- キャリアの多様化
- 収益機会の拡大
- 地域貢献・関係強化
- 人脈・協力関係の拡大

地域農業ファン層の形成、事例の掘り起こし・横展開を推進

官民横断プラットフォームの創設により実現

（１）－２　プラットフォームにて実施予定の内容

特設サイトの立ち上げ

「農業×スポーツ」の取組事例を紹介する他、就農支援情報やイベント開催情報を掲載する

立ち上げプレイベント

プラットフォーム立ち上げに当たり、周知や加入促進を目的として、プラットフォームの趣旨に賛同いただいているアスリートやチーム、農業関係団体、自治体等によるトークイベントを行う

広報媒体の作成

プラットフォームについて知っていただき、加入を促進するための動画やリーフレット、ポスターを作成し、広く周知を図る

各地域での農業体験

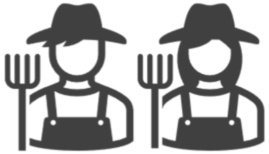
部活の合宿／スポーツイベントに来た学生アスリートやチーム等に、食育を入口として食への関心を喚起した上で、農作業体験から食体験までの機会を提供する

キャリア講習会

指導者・アスリート・チームを対象に、現役中から農業についての情報を得られる講習会を開催する

新・農業人フェアでのPR

「農業×スポーツ」の取組の事例紹介を行うブース展示や、元アスリート農業者によるセミナー開催をメインとした、アスリートを対象としたPRの場を設ける



令和9年度以降に追加予定の取組

・地域活性化の取組等を行っている他のプラットフォームとの連携による発信等の強化

・アワード（個人、団体、支援者）の開催

　→受賞者は優良事例として特設サイトにて紹介・周知

・会員同士のマッチングを目的とした交流会等イベントの開催

・体育系学部等での元アスリート農業者による講義の実施

（２）キャリア講習と地域での農業体験

キャリア講習の実施イメージ

〈目的〉
現状あまり知らない／よく分からない農業について、**現役中から認知**してもらえるよう、農業の魅力発信の一環として、農林水産省が**講習を実施**し、**情報を得る機会を創出する。**

〈実施内容〉
○　農業そのものに加え、農業とスポーツの連携効果等への理解を深めていただく講習の実施
○　元アスリートの「ロールモデル農業者」が職業としての農業の魅力やアスリートとして培った能力や経験の活かし方等を伝える講習の実施
○　「食」など農業関連テーマの講習の実施

〈対象者〉
・指導者
・プロ・実業団アスリートやチーム
・学生アスリート（高校生、大学生）　等
※　対象者への講習会開催の周知については、スポーツ庁とも連携。

農業を職業選択の１つとして、アスリートだけでなく指導者や、チームに対して認知拡大することで、新たな農業の担い手確保や地域貢献につなげる

地域で農業体験の実施イメージ

〈目的〉
部活の合宿やスポーツイベントに来た学生アスリートやチームに、**農業体験の機会を提供**することで、職業としての農業の魅力拡大・**地域や農産物に関する理解促進**を図る。

〈実施内容〉
○　地域スポーツコミッション等が実施する合宿やスポーツイベント等に農業体験を併催
○　農作業体験から食体験まで一元的に行うなど、より農業の魅力が伝わる体験に
○　農業を通じた温室効果ガスの削減や生態系の保全など、地域ぐるみで取り組む社会課題の解決に向けた取組にも発展

→　地域を盛り上げる機会を創出するとともに、地域農業を支える担い手の確保に貢献する

※　地域スポーツコミッションの紹介や事例の周知については、スポーツ庁とも連携。

農業とスポーツが連携し地域の活性化や社会課題の解決、将来の農業担い手や関係人口の創出に貢献

今後の予定

時期	予定
本日　７月27日	**第４回勉強会**
勉強会終了後	**プラットフォームのプレサイト公開** プラットフォームの会員の事前募集を開始
秋	**プラットフォーム発足プレイベント** プラットフォームの認知や機運醸成を図る
年度内	**プラットフォーム発足**